

熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト DVT 検診報告

DVT 検診が 9/24 に益城町にて行われました。

KEEPプロジェクト(代表 掃本九州看護大教授)による DVT 検診が 8 月に引き続き、9/24 益城町テクノ仮設団地にて行われました。掃本代表を始め熊本大学附属病院、熊本市市民病院、熊本赤十字病院、地域の医師、看護協会、キャンパスそして熊臨技会員と総勢 26 名のスタッフでした。熊臨技会員は 10 名の参加があり、下肢エコー、採血、D-ダイマーを担当しました。67 名の受診があり、7 名の採血を行いました。



また今回は国立循環器病センターとの遠隔診断が試行され、超急性期での緊急検診を想定しての下肢エコーも行われました。フジフィルム、NTT の協力のもとに 5 名の受診者の下肢エコーが行われました。検査は 2 名の検査技師が担当しました。回線を通じて国立循環器病センターの医師とのやり取りは緊迫感もあり、将来の検診の形を連想させる検診の一コマでした。

技術スタッフとの打ち合わせ



検査をモニターリング



医師とのやり取りしながらの検査



山本 多美	済生会熊本病院	串部 久子	イエズスの聖心病院
氏原 亜紀	済生会熊本病院	藤田 利香	熊本第一病院
福重 翔太	済生会熊本病院	吉田 健一	熊本労災病院
鮫島 彩香	阿蘇医療センター	田中 信次	日赤熊本健康管理センター
山本 沙良里	国保水俣市立総合医療センター	工藤 圭子	牧診療所

参加いただきました会員のみなさまありがとうございました。

DVT 検診担当 田中